

No. 1595

大正デモクラシー展

——東京・永田町——

大正時代の政治家などの遺品、資料を集めた「大正デモクラシーの政党政治特別展」が東京・永田町の憲政記念館で開かれました。

初の政党内閣をつくった原敬の遭難当日のワイシャツ、犬養毅総理の掛軸など貴重な遺品が出展され興味を呼んでいます。大正12年9月1日の関東震災の被害を示す遺品も並べられています。また、孫文の辛亥革命を財政面で援助した梅屋庄吉のゆかりの資料も初公開されています。

大正期の政治・社会を知るのに有意義なこの特別展は3月20日まで開かれています。

昭和天皇「大喪の礼」

——新宿御苑——

平成元年2月24日、昭和天皇の「大喪の礼」が行われた日。東京は朝から冷たい雨が降りつづき、いつもは賑わう銀座通りも弔意を示すかのように静まり返っています。

午前9時30分皇居を出発する昭和天皇の柩を乗せた霊輜。

沿道を埋めた20万の人々の見送る中、葬列は、赤坂、青山を通り新宿御苑に向かいました。

新宿御苑では「大喪の礼」の前に皇室の行事である「葬場殿の儀」が行われました。

昭和天皇の柩を乗せた葱華輦を中心に天皇皇后両陛下、皇族など220人が参列しました。

「葬場殿の儀」が終わると鳥居と玉串が片付けられ国の儀式である「大喪の礼」が行われました。

正午、天皇皇后両陛下が葬場殿の前へ進み全員が黙禱。次いで国民を代表して竹下首相が弔辞を述べました。

またブッシュアメリカ大統領夫妻を始め、世界から参列した164ヶ国の弔問使節が拝礼しました。

昭和という激動の時代もここに幕を閉じたのです。